

角田市第6次長期総合計画策定経過

年月日	項目	内容
令和元年8月28日	角田市長期総合計画審議会条例の一部改正	角田市議会第398回定例会で議決 (角田市議会からの就任辞退の通知に基づき、審議会委員の規定から「市議会議員」を削除したものの。)
令和元年8月30日	角田市長期総合計画条例制定	角田市議会第398回定例会で議決
令和元年9月17日	角田市第6次長期総合計画策定に係る調査・分析等業務委託契約締結 (期間：令和元年8月18日～令和2年8月30日)	【業務内容】 ①基礎調査・分析 ②市民意識調査・分析 ③施策の評価・検証
令和元年10月16日	※RE S A S (地域経済分析システム) 職員研修会	※令和元年東日本台風災害の影響により中止
令和2年1月24日	角田中学校地方財政教育プログラム(ワークショップ)	東北財務局職員が講師となり、角田中3年生が、「角田市長になったつもりで」予算編成のシミュレーションに挑戦。市の将来像を念頭に歳入・歳出予算のやりくりを考え、班ごとのテーマに沿って発表を行いました。
令和2年2月6日	角田中学校地方財政教育プログラムの結果をまとめた「未来の市長」からの意見書を大友市長へ提出	代表の生徒から大友市長に、当時のまとめを手渡ししながら、「お祭りを開催して人を呼び込む」「子どもの遊び場を整備して子育て世代に優しいまちにする」などの頼もしい意見を交わしました。
令和2年3月5日	角田市第5次長期総合計画基本構想の変更 (計画期間の1年延長)	角田市議会第401回定例会で議決 (令和元年東日本台風災害の影響により、着手予定であった第6次長期総合計画の策定作業を予定どおり進めることが困難となったため、第5次長期総合計画の計画期間を1年延長し、令和3年度までとしたもの。)
令和2年3月24日	※RE S A S (地域経済分析システム) 職員研修会	※新型コロナウイルス感染症対策を考慮し中止
令和2年3月26日	角田市第6次長期総合計画策定方針の決定	市長決裁
令和2年4月1日	第1回角田市長期総合計画策定本部・幹事会	第6次長期総合計画策定方針について説明
令和2年7月21日	角田市第6次長期総合計画策定支援業務委託契約締結 (期間：令和2年7月21日～令和4年3月31日)	【業務内容】 ①作業スケジュール作成 ②会議運営支援 ③トップインタビューの実施 ④市民参画に関する取組の実施支援 ⑤計画書素案作成支援・印刷
令和2年8月25日	角田市議会全員協議会	第6次長期総合計画策定方針について説明
令和2年8月27日	第2回角田市長期総合計画策定本部・幹事会	・経過報告 ・第6次長期総合計画の策定体制について

角田市立角田中学校

財政教育プログラム 次第

1. タイムスケジュール

- ・ 10 : 40～12 : 30 財政教育プログラム (午前の部 : 2クラス)
 - ① 10 : 40～11 : 10 (30分) 講義・グループワーク導入説明
 - ② 11 : 10～11 : 40 (30分) グループワーク
 - ③ 11 : 50～12 : 30 (40分) グループ発表・質疑応答・まとめ

- ・ 13 : 30～15 : 20 財政教育プログラム (午後の部 : 2クラス)
 - ① 13 : 30～14 : 00 (30分) 講義・グループワーク導入説明
 - ② 14 : 00～14 : 30 (30分) グループワーク
 - ③ 14 : 40～15 : 20 (40分) グループ発表・質疑応答・まとめ

2. 内容

① 講義

身近な公共サービスに必要なお金に関するクイズを入り口にして、角田市の財政の現状と課題について学習します。なお、国の財政状況についても説明します。
(講師は東北財務局職員)

② グループワーク

「市長になって角田市の予算を作ろう」という仮定のもと、4人程度のグループに分かれ、グループ内で議論し合いながら、角田市の予算を生徒自らが作り上げます。(タブレットを使用し、生徒が思い描く将来の角田市の姿を実現するための政策を選択することで予算が自動編成されるプログラム(エクセル)を活用)

③ グループ発表

グループワークで作成した予算を生徒が発表し、生徒同士で議論をします。

個人ワークシート【市長になって予算を作ろう！】

班

1. 予算案のテーマを決めよう。(例) “高齢者に優しい社会”、“教育の充実” など

2. グループで理想の予算を考えよう。グループで話し合った内容(増減した理由など)をシートに書き込みながら進めてください。

歳出予算	歳入予算
選んだ政策に☑をつけてみよう	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①子育て</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 出産手当 <input type="checkbox"/> 医療費無料(現状:中学生まで) <input type="checkbox"/> 出産祝い金(1万円→10万円にする) <input type="checkbox"/> 児童手当UP <input type="checkbox"/> 児童手当DOWN <input type="checkbox"/> 医療費無料(高校生まで拡大) <input type="checkbox"/> 保育料の無償化 <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・こども園の建設 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑥環境</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 各種がん診断への補助 <input type="checkbox"/> 県南中核病院の運営費 <input type="checkbox"/> ごみ収集車の管理 <input type="checkbox"/> 仙南クリーンセンターの運営費 <input type="checkbox"/> 角田衛生センターの運営費 <input type="checkbox"/> 予防接種の無償化 <input type="checkbox"/> エコカー購入の補助金 <input type="checkbox"/> 新病院の建設 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>②高齢者・障がい者</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 敬老祝金の支給 <input type="checkbox"/> 障がい者・自立訓練 <input type="checkbox"/> 障がい者・介護支援 <input type="checkbox"/> 年金UP <input type="checkbox"/> 年金DOWN <input type="checkbox"/> 介護保険給付金UP <input type="checkbox"/> 介護保険給付金DOWN <input type="checkbox"/> 生活保護UP <input type="checkbox"/> 生活保護DOWN <input type="checkbox"/> 高齢者の医療費個人負担1割→2割に </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑦消防・救急</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 仙南広域の消防活動費 <input type="checkbox"/> 消防団活動費の援助 <input type="checkbox"/> ミサイルアラート <input type="checkbox"/> ドクターヘリの購入 <input type="checkbox"/> 消防車・救急車の購入 <input type="checkbox"/> 救急車の有料化(軽症者) </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③公共事業</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 道路・河川・橋などの整備・老朽化対策 <input type="checkbox"/> 街灯の整備 <input type="checkbox"/> 公園・遊具等の整備・点検 <input type="checkbox"/> 市役所の建替え <input type="checkbox"/> 角田中央公園の大改修 <input type="checkbox"/> 高速道路(角田インターチェンジ)の新設 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑧農林水産・商工業</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中小企業支援(資金の融資など) <input type="checkbox"/> 商店街の活性化 <input type="checkbox"/> 農業施設の整備 <input type="checkbox"/> スペースタワーコスモハウスの管理 <input type="checkbox"/> 「道の駅」の建設 <input type="checkbox"/> 特産物を加工した「角田ブランド」の開発・PR <input type="checkbox"/> ロケット打上げ場の建設 <input type="checkbox"/> 大型ショッピングモールの誘致 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>④市の運営</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 市役所の維持管理費 <input type="checkbox"/> 祭り・イベントの運営 <input type="checkbox"/> 田園ホールの運営 <input type="checkbox"/> 角田・いらっしやいプラン(住宅購入の補助) <input type="checkbox"/> 議員・職員の給料UP <input type="checkbox"/> 議員・職員の給料DOWN <input type="checkbox"/> ふるさと納税のPR強化 <input type="checkbox"/> 婚活支援(結婚資金の補助) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑨その他</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他①大幅増? <input type="checkbox"/> その他②小幅増? <input type="checkbox"/> その他③削減案 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑤教育</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> スクールバスの整備 <input type="checkbox"/> 学校にエアコン設置 <input type="checkbox"/> 学校の老朽化対策 <input type="checkbox"/> 自治センター(公民館)の運営 <input type="checkbox"/> 教科書をタブレットにする <input type="checkbox"/> 朝ごはんを学校給食にする <input type="checkbox"/> 大学の新設(角田・宇宙キャンパス) <input type="checkbox"/> 図書館の民営化 <input type="checkbox"/> 天文台の建設 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①市民税</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>②固定資産税</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③国からのお金</p> <p><input type="checkbox"/>増額 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由:</p> </div>
	<p>3. 将来の人口減少問題について</p> <div style="border: 1px solid black; height: 80px;"></div>

R2.1.24(金) 角田中 地方財政教育プログラム(中6次長総 策定ワークショップ)

2020年(令和2年)1月27日(月曜日)

校長

副校長

コピ

河

角田中で東北財務局特別授業

予算編成に挑戦



タブレット端末を見ながら選ぶ政策を話し合う生徒たち

3年生 政策選ぶ人口予測 市の財政課題学ぶ

角田市角田中(生徒432人)で24日、東北財務局による地方財政の特別授業があった。3年生がタブレット端末を用い、「角田市長」になって予算編成のシミュレーションに挑戦。取り組む政策に応じて2040年の市人口が予測されるプログラムになっており、生徒たちは市の将来像を念頭に歳入歳出のやりくりを考えた。

生徒約150人が班に分かれ、「出産手当」「角田中央公園の大改修」「朝ご飯を学校給食にする」「大学の施設建設」などの項目から必要と思う政策を選び、予測人口を算出した。地方財政の課題や地域活性化への影響などを学んだ。生徒たちは政策選択の意図を発表。「子どもを増やすために出産祝い金をアップさせた」「ふるさと納税はポイントが必要だと思うのでPR書を増やした」などの意見が上がった。



財政教室 振り返りとまとめ

角田市立角田中学校 3学年

<p>1. 子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保障の充実 ・遊ぶ場所の充実 	<p>2. 高齢者, 障がい者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の負担増 ・暮らしやすい街づくり
<p>3. 公共事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化対策 ・街灯の整備 	<p>4. 市の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市で行う事業の見直し ・職員, 議員などの給与見直し
<p>5. 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット配付 ・独自性のある高校や大学の新設 	<p>6. 衛生・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核となる病院の建設 ・各種検診や検査への費用補助
<p>7. 消防・救急</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急車の有料化 	<p>8. 農林水産・商工業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化 ・道の駅の活用 ・大型ショッピングセンターの誘致
<p>9. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市による土地の買い上げと企業の誘致 ・交通機関の充実 ・ソーラー発電事業への参入 ・市営住宅などの活用法の模索 ・角田市をPRする活動の充実 ・迅速な災害対応 ・田園ホールなどの民営化 ・インターネットを活用した事業の展開 ・婚活支援の充実 	
<p>10. 授業の感想, 勉強になったと感じたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角田市の財政について知る機会になってよかった。 ・市の運営はとても難しいと思った。 ・今まで大きな不満もなくあたり前に生活してきたが, 一生懸命考えてくれた人たちがいたということが分かった。 ・角田市をより良い町にするため, 未来について考えていきたい。 ・ただ文句を言うだけでなく, 自分たちもいろいろなことを知る必要があると思った。将来の角田市をより良くするために今後も頑張りたい。 ・いろいろなことをやろうとすれば歳出が増えるし, 何もしなければ現状を変えることができない。市長さんや議員さん, 職員の方々も大変だなと思った。 ・これからいろいろなことを学んで, 有権者になったときに自分の意見を伝えられるようにしたい。 ・今までは角田市のことに関心がなかったが, 自分たちのことなのだと思うようになった。 	

各項目について

1. 子育て

子育てについては、今後の人口減少の対策として「手厚い保証」と「子育てしやすい環境づくり」をしていくべきという意見が多くありました。

出産費用の補助を増額したり、子どもが多い家庭への補助金を増額したりすることで子育てをしやすい環境を整え、将来的な人口の減少を食い止めることができると考えました。

また、子どもたちが遊ぶ場を整備することも必要だという意見が多く出されました。小さい子どもが遊ぶことができる公園の整備はもちろん、小学生や中学生が安心してボールを使うなどして遊べる場も整備してほしいという意見がありました。友達と外で遊べる環境を整備することは、ゲーム依存の改善や友達とより良い関係を結ぶことにもつながると考えました。

2. 高齢者、障がい者

高齢者や障がい者については、個人の負担を増やすべきという意見が多く出されました。

特に高齢者については、今後その割が大幅に増加することが予想されるので、今のままの制度を維持することは難しいと思います。普段の負担は増やす代わりに、大きな病気などで緊急に必要なときの補助を増額するなど補助の形を変えられないかという考えがでました。

また、町を高齢者に優しい町にした方がよいという意見が出ました。バリアフリーの建物を整備することや道路の段差を減らすなどは大切だという意見がでました。

3. 公共事業

公共事業については、現状維持の意見がほとんどでした。

しかし、市の施設の老朽化対策について心配する意見は何人かから出ていました。震災の経験や近年の日本各地での災害の多さから、災害に対しての危機感を持っている人が多くいると感じました。

また、住んでいる地域によっては、「街灯が少ないので怖い」「街灯が少ないので増やしてほしい」という意見が出されました。住宅密集地では街灯が多く設置されていますが、それ以外では通学路になっているところでも街灯が少ないところがあるようです。安全確保のためには必要だと考えます。

4. 市の運営

市の運営の仕方については、現状維持の意見が多かったです。

ただし、市で行う事業の見直しをすればよいのではないかという意見が出ました。市で行う事業が増えると、職員の負担が増えるだけでなく、新たな労働者を雇うことになり、財政を悪化させる原因になります。このため、市民に説明をし、事業内容を減らす方向で見直すと良いのではないかという意見が出ました。

また、職員や議員のみなさんの給料を下げればよいのではないかという意見も出ました。これは、比較的簡単に歳出を減らすことができますが、職員のやる気や良い人材の確保には影響がでるということも考えられるので、慎重に進めるべきだという意見も出ていました。

5. 教育

教育については、自分達にも関わることなので、関心を持っている人が多くいました。

毎日、数kgになる荷物をもって登校するというこれまでの経験から、教科書をデータ化してタブレットを配付した方がよいという意見が多くでました。ただし、「紙の方がすぐに記入ができて良い」「勉強のしやすさは紙のままの方が上だ」という意見も出されました。これは市内の小中学生を対象に試験的に使用したあとにアンケートを実施するなどした方がよいと考えました。

また、大学の新設を望む声が多く出されました。角田にある財産を活用し、JAXA と連携した宇宙関係の学科のある大学、地元農家と連携した農業系の学科がある大学、地元にある企業と連携した工業系の学科のある大学などをつくることのできるのではないかという意見が出ました。町の特徴を生かして、特色のある大学づくりをしていけないかと考えました。

6. 衛生・環境

衛生・環境については、現状維持の意見がほとんどでした。

そのなかでも、様々な診療科のある大きな病院を誘致してはどうかという意見がでました。仙南中核病院まで行かなくても診察を受けることができると、車のない高齢者でも便利に利用できるのではないかと思います。

また、健康を維持できるように、健康診断や各種検診を受ける費用を補助してはどうかという意見もでました。健康を維持できれば、医療や介護にかかる費用を削減できるのではないかと考えます。

7. 消防・救急

消防・救急については、救急車の有料化の意見が多く出されました。救急車は軽症者の搬送のために出動している場合が多いようです。これは、財政を悪化させるだけでなく、本当に搬送が必要な人への対応が遅れてしまうことにつながります。有料にすることで、個人で対応できるものについてはできるだけ出動回数を減らせるようにすべきだと考えます。市民の安全や安心を守るために、みんなで協力するかたちにできないかと思えます。

8. 農林水産・商工業

農林水産・商工業については、たくさんの意見がありました。地域の商店街の活性化、道の駅の活用、大型ショッピングセンターの誘致などです。

商店街の活性化と大型ショッピングセンターの共存は非常に難しいと考えます。角田市民と他の市町村からの通学、通勤者だけでは人数に限りがあるため、消費者を取り合うことになってしまいます。共存の失敗の例が数多くあるようなので、どちらかに絞るべきだと考えます。独自性を出していく、今後も継続して取り組みをしていくことから考えると、商店街の活性化がよいと思えます。独自の利用ポイントだけでなく、共通した購入や配送のサービス、わかりやすい商品の提示、地場産品を活用した商品の開発やそのPRを工夫することで、商店街を盛り上げていければよいのではないかと思います。

また、「道の駅はこのままで大丈夫なのか」という意見が多く出ました。建設にかかった費用を回収することができるのか、回収できなかった費用が市の借金になってしまうのではないかと心配している人が多いようです。ことため、積極的に集客力のあるイベントを開催すること、出店するお店を工夫するなど、より魅力的な道の駅にしていく必要があると考えます。

9. その他

その他については、たくさんの意見がありました。

町の発展のために、市で積極的に空き地を買い上げ、それを企業の誘致に利用するという意見が出ました。働く場を増やすことで、人口を増やせるのではないかという意見でした。

交通機関の充実では、阿武隈急行の今後についての心配が多くありました。早く復帰してほしいと思っている人がたくさんいました。また、Suicaが利用できるようにしてほしいと意見もありました。

迅速な災害対応については、昨年台風19号の対応について、「ほかの町よりも対応が遅かった」「困っている人が支援してもらえていなかった」「個人で対応しなければいけないことが多い」「連絡体制が整っていない」などの意見が出ました。

田園ホールなど、市の施設を民営化するという意見も出ました。そうすることで、より良いサービスを提供できるようになり、市の負担も減るという意見でした。

太陽光発電の事業に参入するという意見も出ました。空き地の有効利用と新たな収入源の確保の両立ができるのではないかという意見でした。

インターネットを活用した事業展開という意見も出ました。人口減少などで労働力を確保するのが難しくなっている農業分野や個人経営の商店、小規模な工場などをインターネットで結ぶことで商品の流通を円滑にすることや消費者の購入意欲を高めることにつながるのではないかと考えたようです。

授業を終えて

感想で一番多かったのは、「今まで関心がなかったけど、自分たちの事なので大切だと思った」、「角田市の財政について知ることができて良かった」、「今までの生活は、一生懸命考えてくれている人たちに支えられたものだと思った」というものでした。角田市に関心を持ち、角田市を知ることがとても大切だと感じました。また、歳出が増えれば歳入が必要になり、その負担は自分たちに降りかかるということが改めて分かりました。サービスや補助を増やすだけでなく、必要なものを減らすこと、個人個人が我慢をすることや自分たちのちからで補うことを増やす必要があると感じました。

また、予算の作成やその実行はとても難しく大変な作業だということがわかりました。自分たちの知らないところで多くの方々が一生懸命角田市民の生活を支えてくれているということがわかりました。これまでは、市長さんや議員さん、職員のみなさんの活動については、知らないことが多かったですが、仕事内容やその重要性にも気づくことができて本当に良かったです。

以前、授業で将来どこに住みたいかと先生に聞かれたことがあります。東京や横浜、仙台など大都市に住みたいという人はあまりいませんでした。しかし、角田市に住みたいという人も2~3割でした。一番多かったのは、名取市や岩沼市や大河原町など、普段生活するのに便利そうな町へ住みたいと言っている人でした。将来の角田市がそういう町であればいいと思いました。

今回の授業で、関心をもつことや知ることが大事であるということがわかりました。さらに、自分の考えを持つこと、できることから取り組んでいくことが大切だと感じました。この角田市をより良い町にできるよう、これからもみんなでこの町の事を考えていきたいと思います。